



2022年4月28日

各 位

会社名 兼松エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 渡辺 亮
(コード番号 8096 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画室長 梶原 亮洋
(TEL : 03 - 5250 - 6821)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2023年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画(2020年3月期~2022年3月期)の振り返り

2022年3月期を最終年度とする中期経営計画では、以下の重点施策のもと取り組んでまいりました。

既存事業領域を拡充することで最適なICT環境を提供

~インフラ構築ビジネスの展開に加え、運用サービスの質の向上など、アプリケーション開発以外の
ビジネス領域の拡充~

エンドユーザーへのビジネスをさらに強化し、お客様の戦略的パートナーとしての総合的な関係を確立

技術革新によるICT環境の高度化、複雑化への柔軟な対応

~アライアンスによるマルチクラウドやデジタルトランスフォーメーション(DX)柔軟なITサービスなどへの取り組み~

持続的な成長のための企業インフラの整備、強化

~人材確保のための積極的な取り組みやアライアンスパートナーへの業務提携を前提とした投資~

当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」「ネットワーク」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力し、事業規模の拡大を図ってまいりました。

その結果、数値目標として掲げた経常利益は、2019年3月期の101億円から127億円へと26%超の大幅増益となり、ROEは14.2%から14.9%へと向上。配当金も一株当たり125円から155円へと大幅増加、配当性向は50.5%となり、掲げた利益目標を達成いたしました。

2. 新中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）について

(1) 中期経営計画の基本的な考え方

2023年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画では、サービスビジネスのさらなる強化や、お客様の戦略的パートナーとしての地位確立のための業種・業態への知見の蓄積、既存および新規領域双方のアライアンス戦略を策定、推進します。また、これらの戦略を実行するため、持続的な成長に資する人的資本への投資とデジタル投資および強固なセキュリティの実現による経営基盤の強化に取り組みます。

(2) 中期経営計画の重点施策

お客様のDXに伴走する戦略的パートナーとしての業種・業態特化ビジネスの展開
お客様にとって最適となるサービスを実装したプラットフォームの提供
資本・業務提携を含むアライアンスによる付加価値の協創と新規事業領域の開拓
最先端テクノロジーを活用したグリーントランスフォーメーション（GX）への取り組み
職場環境や処遇の改善、健康経営推進といったウェルビーイングの向上に加え、人財育成、女性活躍推進や採用人数の増加など持続的な成長に資する人的資本への投資
健全な財務体質を維持しながらもデジタル投資および強固なセキュリティの実現による経営基盤の強化

(3) 中期経営計画の数値目標

上記の重点施策を着実に実施することで、最終年度（2025年3月期）は以下の数値目標を目指してまいります。

・ 経常利益	: 135億円
・ ROE	: 12%以上
・ 配当方針	: 継続的な安定配当、配当性向50%以上
・ 成長のための投資	: 3カ年で合計100億円程度

中期経営計画期間の3カ年（2023年4月～2025年3月）における最終年度の利益目標は「経常利益135億円」、「ROE12%以上」とします。株主の皆さまへの還元は、さらなる企業価値向上を目的として、継続的な安定配当を基本方針とし、「配当性向50%以上」を目標とします。また、成長のための投資については、資本・業務提携を含むアライアンスや持続的な成長に資する人的資本への投資およびデジタル投資などによる経営基盤の強化のため「3カ年で合計100億円程度」を想定しています。

(4) 事業ポートフォリオマネジメント

当社グループは、中期経営計画において事業ポートフォリオに関する基本的な方針を新たに策定しました。今後は、「主力事業の深化と新規事業領域の開拓」の基本方針のもと、事業ポートフォリオ戦略を着実に実行し、中長期的な企業価値の向上とさらなる成長の実現に向け、取り組んでまいります。

・ 事業ポートフォリオ基本方針

KELグループは、中長期的な企業価値の向上とさらなる成長を実現すべく、「主力事業の深化と新規事業領域の開拓」を基本方針とし、高い収益性・成長性と激しい環境変化への耐性を兼ね備えた強靱な事業ポートフォリオの構築を目指します。

事業ポートフォリオに関する戦略の実行や見直しについては、定期的に取り締り役会で検討を行います。

(5) サステナビリティの取り組み

当社は1968年の創業以来、半世紀以上にわたりテクノロジーを活用したお客様の課題解決を通じて、社会に貢献するとともに、持続的な成長を目指しています。

このたび、当社グループではESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮したサステナビリティ経営を推進するため、新たに「サステナビリティ基本方針」を長期的な指針として定めるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標に関わる、優先して取り組むべき4つの重点テーマを掲げることとしました。

これら社会的課題の解決に貢献し、今後60年、80年、100年と持続的に成長することを目指します。

・ サステナビリティ基本方針

KEL グループは、「信頼と価値を創造する IT 総合サービス会社を目指します。」という経営ビジョンのもと、持続可能な社会の実現を目指します。

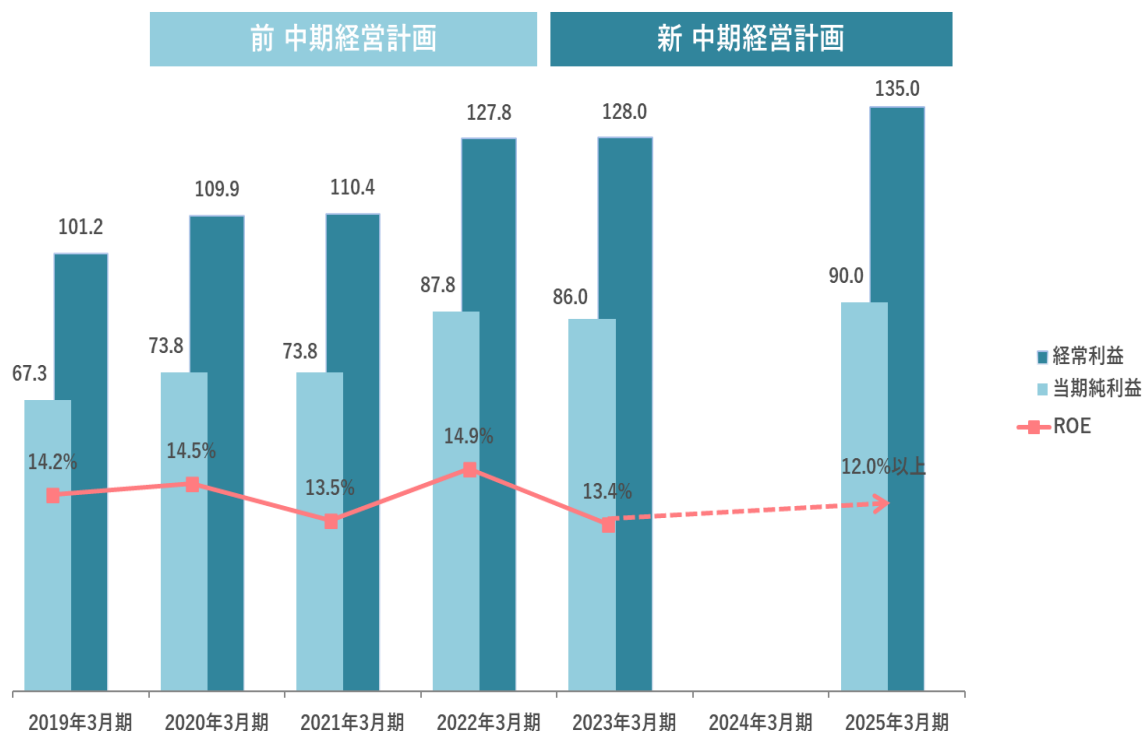
- ・最先端テクノロジーを活用したイノベーションの創出によって、社会的課題を解決します。
- ・個の力の最大化と挑戦を促す環境の整備により新しい価値を創造し、ステークホルダーとの信頼関係を醸成します。
- ・グループガバナンスの強化を通じて、価値創造を支える健全で透明性の高い経営基盤を構築します。

・ SDGs の取り組み

重点テーマ	関連する SDGs	取り組み内容
最先端テクノロジーを実装した社会インフラの整備	  	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関への ICT インフラ提供 ● 教育機関向けの授業支援システム「Sakai」の提供 ● 官公庁、自治体向け ICT インフラ、セキュリティ強化
クラウドおよびサービス展開による環境負荷の低減	   	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮想化やクラウド活用による機器集約、物理サーバーの減少 ● 再生可能エネルギーで運営されたデータセンターの活用
デジタル/サイバーセキュリティ人財育成および働き方改革	   	<ul style="list-style-type: none"> ● アライアンス企業との連携によるセキュリティ人財育成プロジェクト ● リモートワーク推進のための仮想デスクトップ（VDI）環境構築 ● 運用・保守フェーズからお客様を解放するKEL マネージドサービスの展開
自社ビジネスのデジタル化推進による知見の還元	 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい働き方に対応する次世代ネットワーク/セキュリティの導入 ● デジタルツールの活用・実装による社員の生産性向上 ● お客様やパートナー企業へ知見を還元するための自社内のスキル/マインド変革

(参考)業績推移

単位：億円



単位：億円

	前中期経営計画			新中期経営計画	
	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し	2025年3月期 計画
経常利益	109.9	110.4	127.8	128.0	135.0
当期純利益	73.8	73.8	87.8	86.0	90.0
自己資本	528.6	563.6	618.8	660.5	-
ROE (%)	14.5%	13.5%	14.9%	13.4%	12%以上
年間配当金 (円)	135	135	155	155	配当性向 50%以上

以上